

# 教育目標

## (1) 学校の教育目標

- ① 生活する確かな力を育てる教育
- ② 意欲的に社会参加をする力を育てる教育
- ③ 自主性を育む教育
- ④ 人と人との豊かな関わりを育てる教育
- ⑤ 健康なからだと心を育てる教育

### [小・中学部]

児童・生徒一人ひとりに確かな力を育てる学校を目指します。児童・生徒が楽しく学校生活を送り、友達の輪が広がり、安全で安心して過ごせる学校作りを進めます。そのために、命の大切さを理解し、一人ひとりの人権や生き方を尊重し、能力を発見し、伸ばし、発揮させ、自立と社会参加への意欲を高めていきます。こうした基本理念のもとに、健康で意欲的に学習や生活に取り組み、確かな力を身に付け、社会参加していく児童・生徒を育てるために上記の教育を進めます。

### [高等部]

児童・生徒一人ひとりに確かな力を育てる学校を目指します。児童・生徒が楽しく学校生活を送り、友達の輪が広がり、安全で安心して過ごせる学校作りを進めます。そのために、命の大切さを理解し、一人ひとりの人権や生き方を尊重し、能力を発見し、伸ばし、発揮させ、自立と社会参加への意欲を高めていきます。こうした基本理念のもとに、健康で意欲的に学習や生活に取り組み、確かな力を身に付け、社会参加していく児童・生徒を育てるために上記の教育を進めます。

## (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ①教育基本法、学習指導要領、その他関係法令等に基づき適正な教育課程を編成・実施する。
- ②人権尊重の理念に基づいた教育を推進する。規範意識の育成や人命尊重の精神の涵養に努める。
- ③高等部では生徒個々の個性と能力を最大限伸ばさせるために教育課程の類型化を実施する。卒業後の生活を見通し、自立と社会参加に向け実践的な態度の育成に努める。
- ④学校生活支援シート（個別の教育支援計画）の作成・活用を通して地域の関係機関との連携を密にし、就学前から卒業まで連続性のある指導及び支援を行う。
- ⑤年間指導計画を作成し、適正に計画された授業時数に基づいた指導を行う。学期ごとに指導内容や進捗状況の評価・改善を行い、次学期の授業充実を図る。
- ⑥個別指導計画に基づく、個に応じた指導の徹底を図る。児童・生徒の実態を的確に把握し具体的な指導目標のもとよりきめ細かな指導を進める。評価にあたっては具体的・客観的な評価を行う。
- ⑦児童・生徒の興味や関心を広げ、意欲的で主体的な生活態度を養う。
- ⑧アセスメントの利用等、児童・生徒の実態把握を客観的に行い、課題設定を共通理解したうえで、個別指導計画、年間指導計画、単元計画、学級経営計画、各授業の指導案等の計画、実施、評価、改善を進め、一人ひとりの「できることを大切にしたい」授業づくりを行う。外部人材の活用や各関係機関との協力、連携を深め、学校全体でカリキュラム・マネジメントを推進していく。

### (3) 小学部の教育目標

- ① 人と豊かに関わる力を育てる。
- ② 丈夫な体と豊かな心を育てる。
- ③ 身のまわりのことを自分で行うようにする。
- ④ 興味・関心を広げ、意欲的に学習する気持ちを育てる。
- ⑤ 地域で生活するための経験を広げる。

### (4) 中学部の教育目標

- ① 日常生活に必要なマナーやルールを身に付け、友達と協力して生活する力を育てる。
- ② 地域社会との関わりを深め、社会生活に向けての活動を体験する。
- ③ 生活に必要な知識をすすんで学習しようとする意欲を高める。
- ④ 自分なりのコミュニケーション能力を伸ばし、人と豊かに関わる力を育てる。
- ⑤ 健康な体と豊かな心をつくる。健康な体と豊かな心をつくる。

### (5) 高等部の教育目標

- ① 社会生活に必要な知識や力を付け、よりよい生活を営むための基盤を培う。
- ② 就労への見通しをもち、意欲的に社会参加する力を育てる。
- ③ 自分で考えて行動し、役割や課題を理解して、責任をもって最後までやり遂げる力を育てる。
- ④ 社会で生かせるコミュニケーション能力を伸ばし、人と豊かにかかわる力を付ける。
- ⑤ 明るく、豊かな心と社会自立できる丈夫な体を作る。明るく、豊かな心と社会自立できる丈夫な体を作る。

#### 【児童・生徒の学習目標】

- よくかんがえてやりぬこう
- みんなとなかよくしよう
- じょうぶなからだをつくろう